



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月13日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL https://www.rakus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略本部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 03 (5362) 3650
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,590	30.4	509	9.7	509	9.6	335	12.3
2019年3月期第1四半期	1,986	40.3	463	59.2	464	59.6	298	49.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 331百万円 (10.2%) 2019年3月期第1四半期 301百万円 (50.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.40	—
2019年3月期第1四半期	6.59	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,242	4,725	75.7
2019年3月期	6,142	4,593	74.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,725百万円 2019年3月期 4,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	4.40	4.40
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	6.40	6.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の第2四半期の連結業績予想 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,370	31.8	586	△13.7	586	△14.1	372	△16.1	8.21

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2020年3月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期 (累計) の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	45,304,000株	2019年3月期	45,304,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	340株	2019年3月期	296株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	45,303,695株	2019年3月期1Q	45,303,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年8月16日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する説明資料については、TDnetで決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当社が所属する情報通信サービス市場においては、人手不足や働き方改革の影響から業務効率化を志向する企業が増加し、デジタルトランスフォーメーションによる業務効率化を推進する等、ITへの投資意欲が引き続き旺盛に推移しました。特に低コストで導入が可能で、便利なクラウドサービスへの期待は高く、クラウドサービス市場の拡大が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を経営方針に掲げ、2018年3月期を起点に2021年3月期までの3年間で、CAGR（年平均成長率）30%の達成を目指しており、2年目にあたる2020年3月期においては、人手不足や働き方改革の影響に加え、デジタルトランスフォーメーションが推進されクラウド化がより進む等、非常に良好な事業環境が見込まれます。このため、当社では2020年3月期に限り、PDCA高速化に向け、四半期毎に施策を組み替えることで高い売上高成長を目指しており、2020年3月期に関しては通期の業績計画の開示を行わず、四半期ごとの計画開示とさせていただきます。この方針に従い、積極的な人員の増員や、費用対効果を重視した積極的なマーケティング投資を実施してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、前期の下期から実施している売上高成長を最重要視した積極的な成長投資の効果で新規受注が増加したことから、売上高は計画値を超過しました。利益面では計画を上回る増収を達成したこと、費用対効果を重視して成長投資を実施したことから、営業利益は計画を超過しましたが、積極的な成長投資の影響で営業利益率は19.7%（前年同四半期比3.7ポイント減）と悪化しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,590,944千円（前年同四半期比30.4%増）、営業利益509,141千円（前年同四半期比9.7%増）、経常利益509,397千円（前年同四半期比9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は335,218千円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、積極的な成長投資の効果により、主要なクラウドサービスの新規受注が好調に推移したことから、売上高は1,990,928千円（前年同四半期比31.6%増）となりました。利益面では、増収効果があったものの、費用対効果を重視してマーケティング投資を実施したことから、セグメント利益は433,763千円（前年同四半期比8.3%増）となっております。

②IT人材事業

IT人材事業は、顧客企業側での慢性的なITエンジニア不足を背景に、稼働人員数が増加したことから、売上高は600,016千円（前年同四半期比26.6%増）となりました。利益面では、増収効果により、セグメント利益は75,378千円（前年同四半期比18.9%増）と大幅な増益となりました。

なお、前連結会計年度より、グループ再編に伴い、報告セグメントごとの業績をより適正に評価管理するため、主に当社の共通コストの配賦基準等を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益の算定方法により作成したものを記載しております。この変更により、従来の方法に比べて前第1四半期連結累計期間のセグメント利益が「クラウド事業」で26,117千円減少し、「IT人材事業」で26,117千円増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,786,167千円となり、前連結会計年度末に比べて117,569千円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が14,923千円減少したものの、売掛金が79,527千円、前払費用（流動資産「その他」）が60,928千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,456,601千円となり、前連結会計年度末に比べて17,754千円減少いたしました。主な要因は、工具、器具及び備品が58,168千円、長期前払費用（投資その他の資産「その他」）が20,278千円それぞれ増加したものの、のれんが40,948千円、繰延税金資産が40,216千円、顧客関連資産が18,400千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は6,242,768千円となり、前連結会計年度末に比べ99,814千円増加いたしました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,416,515千円となり、前連結会計年度末に比べて19,713千円減少いたしました。主な要因は、賞与引当金が146,459千円、預り金（流動負債「その他」）が75,783千円それぞれ増加したものの、未払費用が270,128千円減少したことによるものであります。固定負債は100,299千円となり、前連結会計年度末に比べて12,767千円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が8,519千円、長期未払費用が4,248千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,516,814千円となり、前連結会計年度末に比べ32,481千円減少いたしました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,725,953千円となり、前連結会計年度末に比べ132,296千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により199,336千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、335,218千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2018年3月期を起点に2021年3月期までの3年間で、CAGR（年平均成長率）30%の達成を目指しており、2020年3月期は目標の達成に向けて非常に重要な年になると認識しております。足元は人手不足や働き方改革の影響に加え、デジタルトランスフォーメーションが推進されクラウド化がより進む等、非常に良好な事業環境の継続が見込まれます。このため、当社では2020年3月期に限り、PDCA高速化に向け、四半期毎に施策を組み替えることで高い成長を目指しており、2020年3月期に関しては通期の業績計画の開示を行わず、四半期ごとの計画開示とさせていただきます。なお、2020年3月期第2四半期は、成長に必要な人員の増強や大型のマーケティング投資を計画しており、売上高は5,370,000千円（前年同期比31.8%増）、営業利益は586,000千円（前年同期比13.7%減）、経常利益は586,000千円（前年同期比14.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は372,000千円（前年同期比16.1%減）を計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,236,000	2,221,077
売掛金	1,262,534	1,342,061
商品	4,843	4,500
その他	173,453	229,436
貸倒引当金	△8,233	△10,907
流動資産合計	3,668,597	3,786,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,546	117,388
工具、器具及び備品(純額)	198,261	256,430
有形固定資産合計	321,808	373,818
無形固定資産		
のれん	1,119,272	1,078,323
顧客関連資産	282,133	263,733
ソフトウェア	36,881	45,800
無形固定資産合計	1,438,287	1,387,857
投資その他の資産		
投資有価証券	40,000	50,000
差入保証金	354,725	345,327
繰延税金資産	319,221	279,005
その他	6,793	29,124
貸倒引当金	△6,479	△8,532
投資その他の資産合計	714,260	694,924
固定資産合計	2,474,356	2,456,601
資産合計	6,142,953	6,242,768

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	198	133
短期借入金	—	20,000
未払金	375,055	446,521
未払費用	317,298	47,169
未払法人税等	235,891	155,387
未払消費税等	142,334	139,381
前受金	291,251	309,784
賞与引当金	—	146,459
その他	74,199	151,676
流動負債合計	1,436,229	1,416,515
固定負債		
長期未払費用	25,750	21,502
繰延税金負債	87,316	78,796
固定負債合計	113,066	100,299
負債合計	1,549,296	1,516,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	3,910,378	4,046,259
自己株式	△285	△404
株主資本合計	4,596,498	4,732,261
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△641	△1,493
為替換算調整勘定	△2,199	△4,814
その他の包括利益累計額合計	△2,841	△6,308
純資産合計	4,593,657	4,725,953
負債純資産合計	6,142,953	6,242,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,986,233	2,590,944
売上原価	669,602	863,743
売上総利益	1,316,630	1,727,200
販売費及び一般管理費	852,651	1,218,059
営業利益	463,979	509,141
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	806	200
その他	0	66
営業外収益合計	807	267
営業外費用		
支払利息	8	12
営業外費用合計	8	12
経常利益	464,778	509,397
税金等調整前四半期純利益	464,778	509,397
法人税、住民税及び事業税	116,497	142,106
法人税等調整額	49,649	32,073
法人税等合計	166,147	174,179
四半期純利益	298,630	335,218
親会社株主に帰属する四半期純利益	298,630	335,218

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	298,630	335,218
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,746	△851
為替換算調整勘定	791	△2,614
その他の包括利益合計	2,537	△3,466
四半期包括利益	301,168	331,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,168	331,751

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額257,255千円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,512,332	473,900	1,986,233	-	1,986,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	3,627	3,627	△3,627	-
計	1,512,332	477,528	1,989,860	△3,627	1,986,233
セグメント利益	400,573	63,405	463,979	-	463,979

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,990,928	600,016	2,590,944	-	2,590,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	4,479	4,497	△4,497	-
計	1,990,946	604,496	2,595,442	△4,497	2,590,944
セグメント利益	433,763	75,378	509,141	-	509,141

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、グループ再編に伴い、報告セグメントごとの業績をより適正に評価管理するため、主に当社の共通コストの配賦基準等を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益の算定方法により作成したものを記載しております。この変更により、従来の方針に比べて前第1四半期連結累計期間のセグメント利益が「クラウド事業」で26,117千円減少し、「IT人材事業」で26,117千円増加しております。